

平成20年度市民公益活動促進補助金申請事業公開審査の結果

大阪狭山市市民公益活動促進委員会「協働事業評価部会」

●公開審査実施日：平成20年5月11日（日）

●参加団体数及び事業数

チャレンジ部門：3団体・3事業 ○総補助金申請額：210,000円 ○平均獲得点数：32.6

自立促進部門：4団体・4事業 ○総補助金申請額：860,000円 ○平均獲得点数：37.5

①審査員一人の持ち点は、45点です。申請団体との関係から一事業について審査員が辞退したため、獲得点数ではなく、平均点で順位を決めました。

②両部門とも全事業を推薦します。

■チャレンジ部門

順位	発表順	申請団体名	平均点	獲得点数	審査員人数	申請額(円)	査定額(円)	申請事業の概要	審査会からのコメント
1	3	若もの自立支援センターのびのび	33.4	203	6	68,000	68,000	高垣忠一郎立命館大学大学院教授（臨床心理士）の講演会を市立公民館で実施する。11月29日（土）午後1時	団体自体の活動の公益性・必要性は高い。今回の講演会を契機に団体の認知度が高まり、本来活動の強化につながることを期待する。
2	2	大阪ムーブメント教育研究会	33.2	199	6	82,000	82,000	ムーブメントを活用したシルバー世代向けの健康教室を市立コミュニティセンターで開催する。毎月第3土曜・午前中	ムーブメントに対する認知を高める観点からもPRの充実が望まれる。教室の実施で得られる成果をより多くの市民に還元するような展開が期待される。
3	1	玄骨プロジェクト	30.7	184	6	60,000	60,000	商店街のレストランで、地域の人材を活用して文化サロン（トークライブ）を開催することで、商店街の活性化を図る。不定期月1回	活動自体は、新規性があり期待できる。補助対象事業としての信頼性を担保するに足る計画性を望みたい。商店会との連携が進むことで、商店街全体に対する波及効果を期待したい。
合計						210,000	210,000		

■自立促進部門

順位	発表順	申請団体名	平均点	獲得点数	審査員人数	申請額(円)	査定額(円)	申請事業の概要	審査会からのコメント
1	2	狭山コミュニティアラブ	39.2	235	6	450,000	450,000	HIPHOPダンス、料理教室、陶芸教室、市民運動会など、誰もがいつでも気軽に参加できる教室・イベントを年間を通じて週末に開催する。	従前は公的サービスとして取り組まれてきた内容だが、民間ならではの運営で充実したものとなっている。市との協働事業として継続的な事業運営手法を構築するモデルケースとなることが期待できる。
2	4	特定非営利活動法人ワークレッシュ	37.3	224	6	100,000	100,000	子どもの人権を考える講座を開催し、子どもにかかわる多様な立場の人の学びの場を提供する。	講座自体の参加費を無料にし、講座後の交流会を有料にする手法はユニーク。今後、補助金以外の委託料収入などが獲得できるよう、事業としての充実を期待したい。
3	3	食生活改善推進協議会	36.8	221	6	120,000	120,000	食育にかかわる講演会、調理実習などを保健センターと協働で開催する。	無料または低額の参加費で事業を運営しているため、補助金に対する依存度が高い。今後、自立的な事業運営に向けての展望が欲しい。
4	1	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ大阪狭山	36.4	182	5	190,000	190,000	市立コミュニティセンターで、子育て広場を月2回開き、子育て中の親子の交流の場を設ける。	市も類似の事業を実施しているなかで、独自の運営を維持していることは評価できる。団体の地域貢献としての意義は大きい。補助金を前提にした運営から脱却するための展開を期待したい。
合計						860,000	860,000		